令和７年度　秋葉区組織目標

組織名	秋葉区	区長	長崎　忍
組織の目的・方向性	秋葉区では、区の将来像である「里山と水に囲まれて 花と緑あふれる 笑顔咲きそろうまち」を実現するため、秋葉区の特性を生かしたまちづくりを推進します。		
（参考）関連する総合計画における政策指標※	・職業を理由とした県外との転出入数 ・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合 ・新潟市は子育てしやすいまちだと思う保護者の割合 ・観光入込客数 ・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

秋葉区組織目標

秋葉区では、新潟市総合計画 2030、区ビジョンまちづくり計画や地域福祉推進計画に基づいて、時代の潮流を踏まえつつ、区の将来像である「里山と水に囲まれて 花と緑あふれる 笑顔咲きそろうまち」を実現するため、秋葉区の特性を生かした「環境に配慮した潤いとやすらぎのあるまち」、「やさしさがあふれる楽しく元気なまち」、「歴史と個性を活かすまち」、「可能性を生み出し、育て、活かすまち」を目指します。

この方針のもと、今年度は次の５つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

１　「アキハスムプロジェクト」の理念のもとで、 秋葉区の特性や魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図るとともに、「移住フェア」などの開催による移住促進に取り組みます。

　また、秋葉区内を走る区バス・金津線・下新線について、こどもや若者が気軽に利用できる機会を創出し利用促進を図ることで、地域全体で支える持続可能な公共交通ネットワークを構築します。

２　区役所の窓口サービスにおける市民満足度の一層の向上を図ります。

３　こども真ん中の秋葉区づくりを実現するため、既存施設を活用し、地域コミュニティ協議会と連携を図りながら、地域のこどもたちが安心・安全に過ごせる居場所づくりを推進します。

４　地域資源を活かし、秋葉区の交流人口の拡大を図ります。また、新潟薬科大学等との連携により互いの資源や成果を共有するなど交流を深め、教育機関の英知を活かした施策展開や地域との連携につなげることで、質の高いまちづくりを進めます。

５　新津川や能代川沿いの遊歩道のほか、秋葉公園内の環境整備を秋葉区 SDGs トライとして市民と協働で行います。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

取組結果	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	
今後の方向性					